

新場外車券売場の検討にあたって

平成24年10月
青森市企画財政部
競輪事業所

1. 青森競輪の施設概要

本場



竣工	昭和57年10月30日 敷地面積 220,000㎡
所在地	青森市新城平岡（青森駅から車で30分）（新青森駅から車で12分）
収容人員 【H23入場者数】 年間:188,450人	総収容人員 6,106人 一般観覧席 マインスタンド2,919席／北側スタンド1,576席 特別観覧席 746席 駐車場 3,935台
発売払戻	有人94窓／自動機18台
その他	選手管理棟（宿泊可能184名、49室）、オーロラビジョン1台 場内テレビ、食堂、案内所・休憩所・手荷物預かり所 等

藤崎場外



竣工	昭和57年11月25日 敷地面積 43,047㎡
所在地	藤崎町藤越東一本木（JR奥羽本線川部駅から徒歩15分）
収容人員 【H23入場者数】 年間:375,448人	総収容人員 2,813人 一般観覧席 972席／特別観覧席 57席 駐車場 1,702台（借上）
発売払戻	有人39窓 / 自動機17台
その他	9面マルチシステム2台、場内テレビ、食堂、案内所 等 地元対策として、藤崎町に年間27,000千円（定額）を納付。

安方前売SC



竣工	昭和61年10月9日 敷地面積 205㎡
所在地	青森市安方一丁目（青森駅から徒歩3分）
収容人員 【H23入場者数】 年間:256,728人	総収容人員 70人（非滞留型） 駐車場34台（借上）
発売払戻	有人5窓／自動機3台
その他	地元対策として2階を地区集会所として使用

2. 「場外車券売場」と「前売サービスセンター(SC)」の違い

	場外車券売場	前売サービスセンター(SC)
施設タイプ	滞留型	非滞留型
当日レースの 的中車券の払戻	払い戻しが可能	払い戻しができない。 ※ 翌日以降に払い戻し可能
実況映像	大型ビジョンやテレビで、 レース実況等を観戦できる。	レース実況等を見れない。
附属施設	飲食店・売店、喫茶・休憩コーナー、駐車場	駐車場
青森競輪の事例	藤崎場外車券売場 (延床面積 2,484㎡) 1,215人・日	安方前売SC (延床面積 216㎡) 830人・日
他施設の事例	 <p>サテライト六戸 青森県六戸町 (設置者): 民間</p> <p>三沢駅から車で15分 延床面積: 2,484㎡ 383人・日</p>  <p>ラピスタ新橋 東京都港区新橋 (設置者): 民間</p> <p>新橋駅前 延床面積: 6,126㎡ 2,670人・日</p>	 <p>駅前SC 山口県防府市 (設置者): 防府市</p> <p>防府駅から徒歩約6分 延床面積: 229㎡ 1,303人・日</p>  <p>利根西前売SC 群馬県前橋市 (設置者): 前橋市</p> <p>新前橋駅より車で10分 延床面積: 600㎡ 1,448人・日</p>

(資料)
 ・全国競輪施行者協議会
 「全国場外車券売場施設概要」
 ・車両情報センター
 「競輪情報検索システムデータベース」

(数字は平成23年度)

3. 「場外車券売場の設置許可」の基準(概要)

◆ 自転車競技法第5条第1項 (場外車券売場)

車券の発売等の用に供する施設を競輪場外に設置しようとする者は、経済産業省令で定めるところにより、経済産業大臣の許可を受けなければならない。

	設置許可の基準	備考
施設の位置関係	<p>一 文教上又は保健衛生上著しい支障を来す恐れがない場所であること。</p> <p>(自転車競技法施行規則第15条)</p>	<p>(許可申請 → 図面の提出が求められる)</p> <p>○ 場外車券売場施設付近の見取り図(敷地の周辺から1,000m以内の地域にある学校その他の文教施設及び病院その他の医療施設の位置並びに名称を記載したもの)</p> <p>○ その他場外車券売場を中心とする交通の状況図など</p>
施設の規模等	<p>二 入場者数及び必要な設備に応じた適当な広さであること。</p> <p>三 車券の発売等の公正かつ円滑な実施に必要な次の施設を有すること。</p> <p>イ 車券の発売等の用に供する施設 →車券発売等の用に供する窓口は総収容人員数に応じた適当な窓口数であることなど</p> <p>ロ 入場者の用に供する施設 →お客様相談室並びに必要に応じて適当な数及び広さを有する駐車場等を利用しやすい場所に設けてあることなど</p> <p>ハ その他管理運営に必要な施設 →場内放送に必要な放送設備や、場内取締員控所を設けていることなど</p> <p>(平成18年12月27日経済産業省告示第370号)</p> <p>四 前号に掲げる施設の規模、構造及び設備並びにこれらの配置は、入場者の利便及び車券の発売等の公正な運営のため適切なものであり、かつ周辺環境と調和したものであって、経済産業大臣が告示で定める基準に適合するものであること。</p> <p>(自転車競技法施行規則第15条)</p>	<p>○ 現状(本場+安方前売SC) 1日 約 1,840人</p> <p>※上記の入場者数は、本場については、レースが行われる日のみ施設利用し、場外開催のみの車券発売をしないことを前提としている。</p>
地域社会との調和	<p>○ 設置場所の町内会等又は地方自治体の長の同意を得るなど、地域社会との調整を十分に行うこと。</p> <p>経済産業省通達 (場外車券発売施設の設置に関する指導要領について)</p>	<p>○ 通達により、地域社会との調整を十分行ったことを証する書面の提出が求められる。</p>
地元関係機関との連絡調整	<p>○ 地元の警察署、消防署等とあらかじめ密接な連絡を行うこと。</p> <p>経済産業省通達 (場外車券発売施設の設置に関する指導要領について)</p>	

4. 青森競輪の売上状況(その1)【本場開催】【売場別】

- ◆ 本場、藤崎場外、安方前売SCともに低下傾向、本場売上の落ち込みが大きい。
- ◆ 電話投票(主にインターネットでの車券購入)は、伸ばしている。

(単位:円)

	本場	H3比 (H3=100)	藤崎場外	H3比 (H3=100)	安方前売SC	H3比 (H3=100)	インターネット 電話投票 (電話・PC・携帯)	H3比 (H3=100)	場外車券売場	H3比 (H3=100)	全体
3年度	17,174,222,200	100.0%	6,875,728,500	100.0%	1,221,045,900	100.0%	253,819,500	100.0%	3,747,306,200	100.0%	29,272,122,300
4年度	14,557,085,100	84.8%	6,563,189,500	95.5%	1,180,255,300	96.7%	540,276,600	212.9%	2,807,684,700	74.9%	25,648,491,200
5年度	13,053,116,900	76.0%	6,009,358,000	87.4%	1,200,578,200	98.3%	3,448,924,800	1358.8%	27,108,350,700	723.4%	50,820,328,600
6年度	11,928,395,300	69.5%	5,390,282,400	78.4%	1,179,805,000	96.6%	797,915,800	314.4%	3,515,729,800	93.8%	22,812,128,300
7年度	12,368,229,700	72.0%	5,275,539,000	76.7%	1,149,188,400	94.1%	2,869,222,000	1130.4%	23,628,691,800	630.6%	45,290,870,900
8年度	10,497,609,900	61.1%	4,896,317,400	71.2%	1,147,894,000	94.0%	1,403,159,900	552.8%	5,473,072,300	146.1%	23,418,053,500
9年度	10,103,853,800	58.8%	4,794,542,100	69.7%	1,161,281,800	95.1%	1,738,199,300	684.8%	6,396,931,100	170.7%	24,194,808,100
10年度	9,061,953,500	52.8%	4,083,578,700	59.4%	1,104,458,100	90.5%	4,819,170,400	1898.7%	28,033,048,400	748.1%	47,102,209,100
11年度	6,954,278,000	40.5%	3,727,327,300	54.2%	997,067,400	81.7%	2,117,705,000	834.3%	7,897,157,300	210.7%	21,693,535,000
12年度	5,719,264,200	33.3%	3,090,216,100	44.9%	869,978,100	71.2%	2,192,621,800	863.9%	8,495,318,800	226.7%	20,367,399,000
13年度	5,516,256,300	32.1%	2,744,894,300	39.9%	765,329,300	62.7%	3,697,860,200	1456.9%	22,542,905,300	601.6%	35,267,245,400
14年度	4,107,466,400	23.9%	2,241,047,300	32.6%	659,465,300	54.0%	1,601,078,400	630.8%	9,206,995,100	245.7%	17,816,052,500
15年度	3,109,449,300	18.1%	1,837,717,700	26.7%	598,282,200	49.0%	2,169,765,400	854.8%	13,563,030,300	361.9%	21,278,244,900
16年度	2,135,710,800	12.4%	1,404,108,600	20.4%	457,856,600	37.5%	1,746,265,800	688.0%	8,975,076,500	239.5%	14,719,018,300
17年度	1,760,856,700	10.3%	1,135,707,700	16.5%	391,006,900	32.0%	2,561,045,500	1009.0%	14,595,912,500	389.5%	20,444,529,300
18年度	1,150,818,900	6.7%	842,216,500	12.2%	293,327,300	24.0%	1,771,822,000	698.1%	9,481,276,200	253.0%	13,539,460,900
19年度	982,903,200	5.7%	704,885,100	10.3%	262,951,700	21.5%	1,885,778,600	743.0%	9,799,132,400	261.5%	13,635,651,000
20年度	947,899,600	5.5%	715,941,900	10.4%	233,019,900	19.1%	2,270,662,900	894.6%	9,817,838,900	262.0%	13,985,363,200
21年度	941,277,000	5.5%	641,334,900	9.3%	214,100,100	17.5%	2,774,381,300	1093.1%	11,820,753,800	315.4%	16,391,847,100
22年度	687,993,700	4.0%	552,109,900	8.0%	170,545,800	14.0%	2,245,991,700	884.9%	7,753,804,000	206.9%	11,410,445,100
23年度	600,612,600	3.5%	456,251,900	6.6%	151,471,400	12.4%	2,173,275,000	856.2%	7,845,843,900	209.4%	11,227,454,800

※重勝式車券売上は、インターネット電話投票に含まれる。H5年、7年、10年、13年、17年、21年は特別競輪開催年。

5. 青森競輪の売上状況(その2) **【本場開催+場外開催】**

- ◆ 本場開催と場外開催を合計した売上額についても低下傾向となっている。
- ◆ 場外開催についても、本場の落ち込みが大きい。

(単位:円)

	本場開催		場外開催【売場別】								合計	
	【A】	前年比	本場	前年比	藤崎場外	前年比	安方前売SC	前年比	中計【B】	前年比	【A+B】	前年比
平成14年度	17,816,052,500	-	5,863,065,100	-	5,248,504,000	-	1,579,436,000	-	12,691,005,100	-	30,507,057,600	-
平成15年度	21,278,244,900	119%	5,455,912,200	93%	5,465,221,600	104%	1,832,734,200	116%	12,753,868,000	100%	34,032,112,900	112%
平成16年度	14,719,018,300	69%	4,907,117,500	90%	5,275,698,500	97%	1,757,973,400	96%	11,940,789,400	94%	26,659,807,700	78%
平成17年度	20,444,529,300	139%	3,993,401,400	81%	4,942,941,200	94%	1,731,462,800	98%	10,667,805,400	89%	31,112,334,700	117%
平成18年度	13,539,460,900	66%	3,798,956,200	95%	5,245,587,800	106%	1,754,846,100	101%	10,799,390,100	101%	24,338,851,000	78%
平成19年度	13,635,651,000	101%	3,555,000,000	94%	4,742,054,500	90%	1,609,189,400	92%	9,906,243,900	92%	23,541,894,900	97%
平成20年度	13,985,363,200	103%	3,135,163,700	88%	4,387,606,000	93%	1,470,354,600	91%	8,993,124,300	91%	22,978,487,500	98%
平成21年度	16,391,847,100	117%	2,525,286,000	81%	3,983,957,100	91%	1,347,792,500	92%	7,857,035,600	87%	24,248,882,700	106%
平成22年度	11,410,445,100	70%	2,188,114,800	87%	3,690,636,400	93%	1,169,203,600	87%	7,047,954,800	90%	18,458,399,900	76%
平成23年度	11,227,454,800	98%	2,029,063,500	93%	3,432,333,500	93%	1,133,562,300	97%	6,594,959,300	94%	17,822,414,100	97%

6. 青森競輪場の入場者数 [本場開催+場外開催]

- ◆ 本場の入場者数の落ち込みが大きい。(平成3年度の約半分)
- ◆ 藤崎場外及び安方前売SCは、15年度から18年度にかけて堅調に推移していたが、最近は減少傾向にある。
- ◆ 安方前売SCは、平成17年度以降、本場入場者数を超えている。

(単位:人)

	本場	H3年比	藤崎場外	H3年比	安方SC	H3年比	計	H3年比
平成3年度	422,950	100%	278,054	100%	183,801	100%	884,805	100%
平成4年度	375,627	89%	292,986	105%	210,854	115%	879,467	99%
平成5年度	385,033	91%	343,401	124%	246,639	134%	975,073	110%
平成6年度	402,735	95%	354,898	128%	249,996	136%	1,007,629	114%
平成7年度	420,786	99%	375,846	135%	258,736	141%	1,055,368	119%
平成8年度	429,177	101%	387,231	139%	296,972	162%	1,113,380	126%
平成9年度	409,180	97%	372,749	134%	279,851	152%	1,061,780	120%
平成10年度	415,165	98%	327,666	118%	319,963	174%	1,062,794	120%
平成11年度	370,067	87%	431,358	155%	263,865	144%	1,065,290	120%
平成12年度	333,793	79%	417,054	150%	250,826	136%	1,001,673	113%
平成13年度	326,154	77%	413,785	149%	222,797	121%	962,736	109%
平成14年度	322,902	76%	394,737	142%	227,268	124%	944,907	107%
平成15年度	325,078	77%	465,195	167%	274,821	150%	1,065,094	120%
平成16年度	314,962	74%	470,293	169%	284,517	155%	1,069,772	121%
平成17年度	294,278	70%	467,607	168%	309,254	168%	1,071,139	121%
平成18年度	287,491	68%	479,201	172%	322,643	176%	1,089,335	123%
平成19年度	268,742	64%	464,546	167%	314,034	171%	1,047,322	118%
平成20年度	257,493	61%	454,868	164%	296,400	161%	1,008,761	114%
平成21年度	231,448	55%	426,460	153%	275,050	150%	932,958	105%
平成22年度	204,680	48%	387,311	139%	245,268	133%	837,259	95%
平成23年度	188,450	45%	375,448	135%	256,728	140%	820,626	93%

7. 青森競輪1人平均購買額の推移 [本場開催]

(単位:円)

	全国平均	青森競輪					
	本場	本場	藤崎場外	安方前売SC	インターネット 電話投票	場外車券売場	
平成3年度	57,200	59,400	41,800	11,700	/	/	
平成4年度	54,200	57,700	40,700	11,200			
平成5年度	50,800	54,100	36,500	10,900			
平成6年度	48,200	49,600	34,300	11,200			
平成7年度	47,000	51,200	32,600	11,100			38,400
平成8年度	44,800	46,300	31,000	10,300			30,600
平成9年度	42,900	45,600	29,800	10,400			31,600
平成10年度	39,700	44,700	26,200	10,600			32,000
平成11年度	37,200	40,200	23,500	10,700			22,100
平成12年度	35,100	39,000	21,400	9,900			30,800
平成13年度	33,000	39,000	18,800	9,300	27,500		
平成14年度	29,900	31,200	17,300	8,900	7,000	20,200	
平成15年度	25,400	25,100	14,400	7,900	7,000	17,900	
平成16年度	22,700	20,300	12,500	6,800	6,800	16,500	
平成17年度	20,900	18,300	10,600	5,300	7,700	18,700	
平成18年度	19,500	14,400	8,900	4,200	5,900	14,000	
平成19年度	18,200	13,700	7,700	4,000	5,700	13,400	
平成20年度	17,500	14,300	8,700	4,100	5,600	13,500	
平成21年度	15,400	14,200	8,300	4,000	6,100	13,200	
平成22年度	14,700	12,200	7,800	3,600	5,100	9,900	
平成23年度	14,000	12,300	7,500	3,200	5,000	10,200	

※重勝式車券は除く、斜線部分はデータがないため。

8. 「前売サービスセンター(SC)」から「場外車券売場」への移行事例

サテライト鴨島の例

◆サテライト鴨島売上状況

(単位:円、人)

年度	鴨島サービスセンター			サテライト鴨島		
	売上金額	入場者数	1人購買額	売上金額	入場者数	1人購買額
2006年度 (H18)	1,009,440,200	129,706	7,800			
2007年度 (H19)	794,526,900	95,345	8,300	217,908,800	21,584	10,100
2008年度 (H20)				1,410,314,600	127,965	11,000
2009年度 (H21)				1,371,192,100	100,009	13,700
2010年度 (H22)				1,254,238,700	79,290	15,800
2010年度 (H22)				1,254,238,700	79,290	15,800
2011年度 (H23)				1,237,513,400	81,822	15,100

場外車券売場へ移行後、1人購買単価がアップ
(H19年: 8,300円 ⇒ 10,100円~15,800円)

設置者	小松島市
開設日	平成20年2月8日(金) 滞留型施設としてリニューアルオープン
施設概要	延床面積 339㎡
	規模構造 鉄骨造地下1階建
	収容人数 64人
交通アクセス	JR鴨島駅からタクシーで約10分。JR牛島駅から徒歩約15分

サテライト鹿児島島の例

◆サテライト鹿児島島売上状況

(単位:円、人)

年度	鹿児島島天文館サービスセンター			サテライト鹿児島島		
	売上金額	入場者数	1人購買額	売上金額	入場者数	1人購買額
2008年度 (H20)	315,847,500	81,469	3,900			
2009年度 (H21)	158,092,900	58,817	2,700	446,304,400	37,309	12,000
2010年度 (H22)				1,101,986,600	88,547	12,400
2011年度 (H23)				1,146,381,400	89,963	12,700

場外車券売場へ移行後、1人購買単価がアップ
(H21年: 2,700円 ⇒ 12,000円~12,700円)

設置者	民間
開設日	平成21年11月16日(月) 滞留型施設として移転開設
施設概要	延床面積 840㎡
	規模構造 鉄骨鉄筋ビル 1フロア
	収容人数 250人
交通アクセス	JR鹿児島中央駅からタクシーで約5分

資料:(財)車両情報センター競輪情報検索システムデータベース

9. 今後の売上高見通し

◇【前回試算】「青森競輪事業のあり方に関する報告書・今後の売上高見通し」に平成23年度実績^(注)を反映。

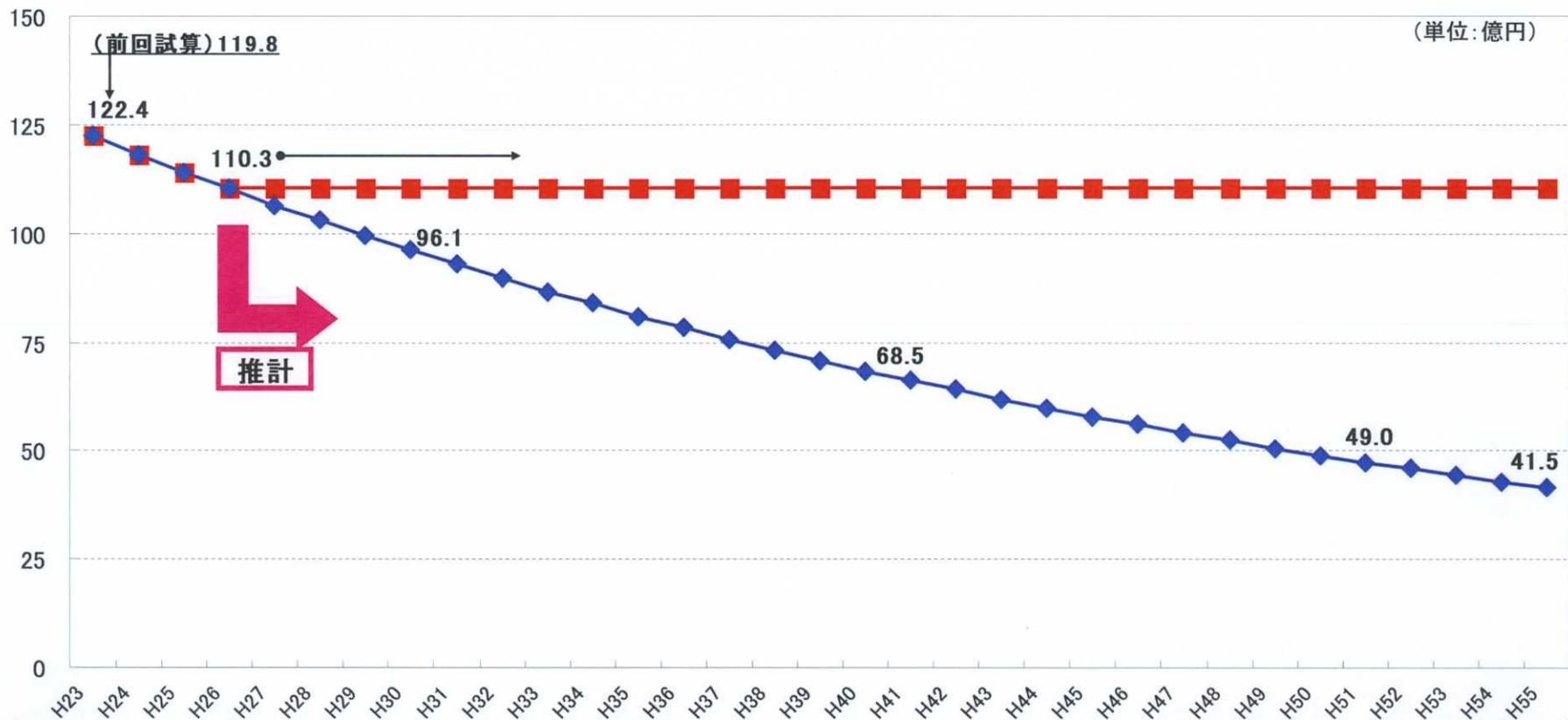
◇青森競輪の平成23年度売上額を基準とし、次の2つのケースを試算。

◆売上収入予測A…「本場開催▲3.2%」+「場外開催▲8.6%推移」 ※H27年度以降下げ止まるケース※

【前回試算】▲3.8% $\xrightarrow{+0.6\%改善}$

◆売上収入予測B…「本場開催▲3.2%」+「場外開催▲8.6%推移」が続くケース

(注)東日本大震災の特殊要因の影響により営業一時休止となったため、本場開催(▲6日分)を調整している。
次世代投票システム対応機器措置入替作業等のため、場外開催(▲11日分)を調整している。



10. 資金残高(繰越金+基金残高)の推移

◇【前回試算】「青森競輪事業のあり方に関する報告書・今後の売上高見通し」に平成23年度実績を反映。

売上収入予測A:楽観的見通し 「本場開催▲3.2%推移」+「場外開催▲8.6%推移」 ※H27年度以降下げ止まる※

◇売上収入予測Aをベースに、2つのパターンを試算。

(パターン1) 現状維持パターン 【施設現状維持】+【一般会計への繰り入れを行う】

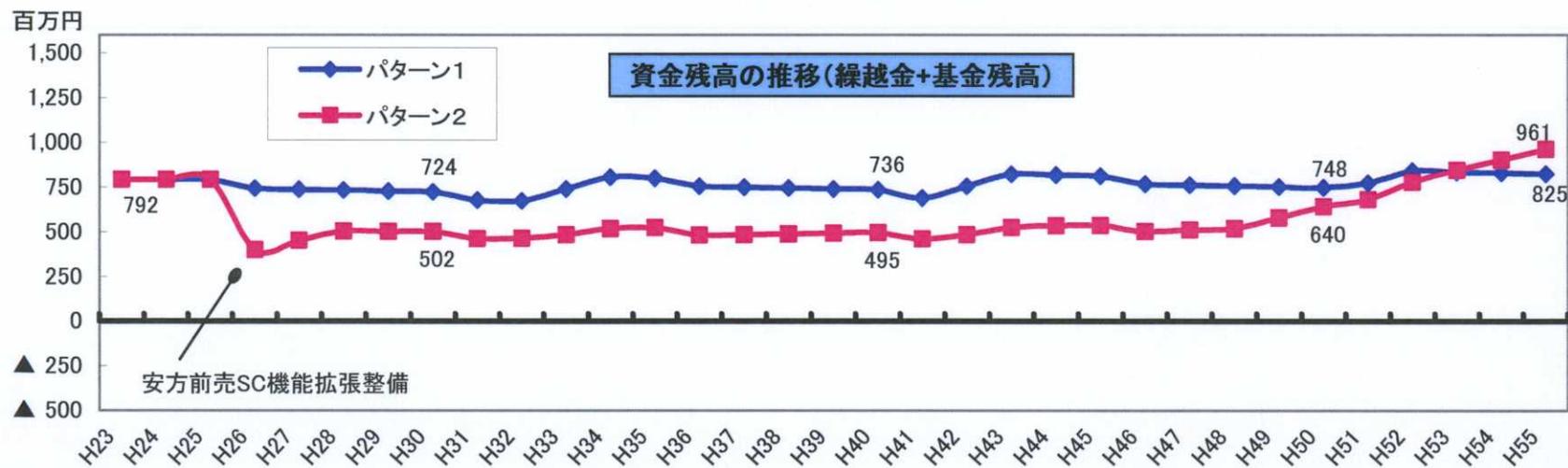
- ・青森本場、藤崎場外車券売場、安方前売サービスセンター(以下「安方前売SC」という。)は現状のままで車券発売をする。
- ・維持修繕を基本とし、新たな施設改善投資は行わない。 ※本場大型映像装置の更新を必要とする。

＜今回試算結果＞ 前回試算より収支改善となった。
 【H30】+46百万円 ⇒【H40】+126百万円 ⇒【H50】+206百万円 ⇒【H55】+246百万円

(パターン2) 安方前売SC場外車券売場化パターン 【一般会計への繰り入れを行う】 ※平成25年度まで※

- ・安方前売SCを滞留性のある施設へ機能拡張する。
 ※現状(本場+安方前売SC)1,840人/日、収容可能な施設 建設費14.5億円を想定。(用地費除く。)
 ※地方債借入……据置3年、償還20年、利率0.9%、元金均等償還
- ・青森本場については、本場開催のみ施設利用し、場外開催のみの車券発売をしない。
 ※無料送迎ファンバスの運行、本場敷地内の除雪費用等、一定の経費削減が見込まれる。
 (現在、無料送迎ファンバスは、東部営業所と安方前売SCから送迎している。)
 ※本場大型映像装置の更新は実施しない。

＜今回試算結果＞ 前回試算より収支改善となった。 ※パターン1同様の傾向※



売上収入予測B:悲観的見通し 「本場開催▲3.2%推移」+「場外開催▲8.6%推移」 ※減少が続くケース※

◇売上収入予測Bをベースに、2つのパターンを試算。

(パターン1) 現状維持パターン 【施設現状維持】+【一般会計への繰り入れを行う】

- ・青森本場、藤崎場外車券売場、安方前売サービスセンター(以下「安方前売SC」という。)は現状のまま
で車券発売をする。
- ・維持修繕を基本とし、新たな施設改善投資は行わない。 ※本場大型映像装置の更新を必要とする。

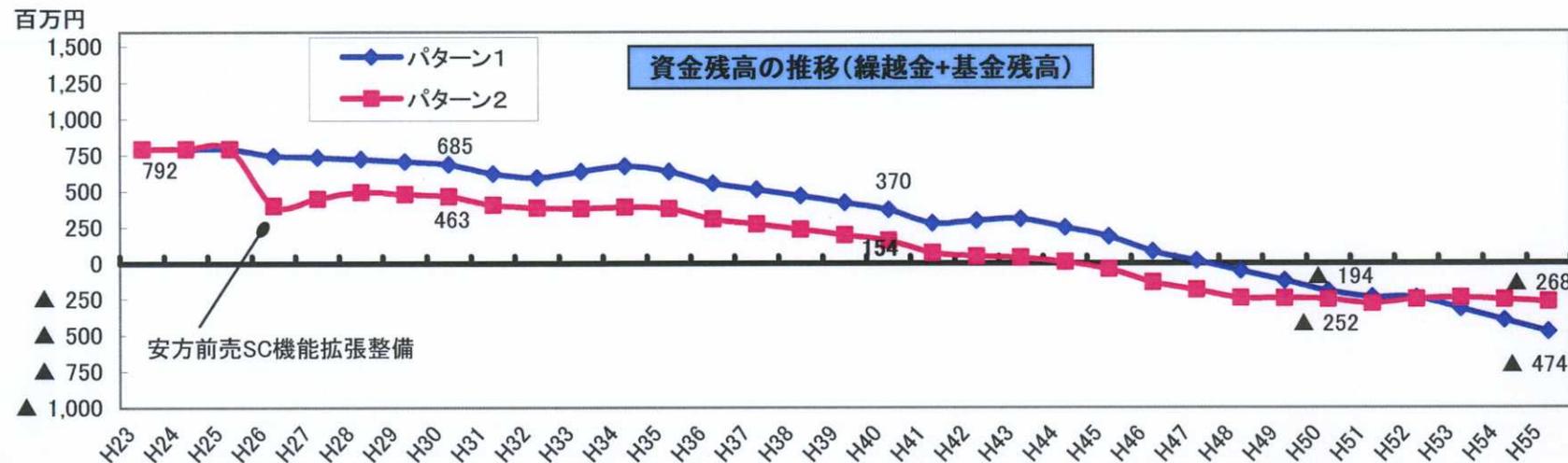
<今回試算結果> 前回試算より収支改善となった。

【H30】+51百万円 ⇒【H40】+155百万円 ⇒【H50】+258百万円 ⇒【H55】+307百万円

(パターン2) 安方前売SC場外車券売場化パターン 【一般会計への繰り入れを行う】 ※平成25年度まで※

- ・安方前売SCを滞留性のある施設へ機能拡張する。
※現状(本場+安方前売SC)1,840人/日、収容可能な施設 建設費14.5億円を想定。(用地費除く。)
※地方債借入……据置3年、償還20年、利率0.9%、元金均等償還
- ・青森本場については、本場開催のみ施設利用し、場外開催のみの車券発売をしない。
※無料送迎ファンバスの運行、本場敷地内の除雪費用等、一定の経費削減が見込まれる。
(現在、無料送迎ファンバスは、東部営業所と安方前売SCから送迎している。)
※本場大型映像装置の更新は実施しない。

<今回試算結果> 前回試算より収支改善となった。 ※パターン1同様の傾向※



●「パターン2」安方前売SC場外車券売場化の前提

青森本場の見込まれるコスト削減効果

		安方前売SC	
		現状の場合	場外車券売場化した場合
青森本場	修繕費	増加	施設の老朽化に伴い維持修繕が増加。(現状、年間2,000万円)
	大型映像装置	必要	年間、 約5,700万円 の新たな負担(リース料)が発生。
	無料送迎ファンバスの運行	必要	年間、 約2,400万円
	除雪費	必要	年間、 約600万円
			<p>計画的にコンパクト化</p> <p>不要</p> <p>不要</p> <p>縮小</p>
		<p>青森本場コスト削減効果⇒年間、<u>約8,700万円</u></p>	

11. 公共交通の便のいい地域の候補

◇新場外車券売場候補地選定にあたっては、『今後の青森競輪の運営方針』に掲げている、**公共交通の便が良い地域を選定することを基本**に、以下の条件を考慮する。

【条件1】 鉄道路線（JR線、青い森鉄道線）が通っていること。

【条件2】 主要なバス路線が通っていること。（注）

【条件3】 建てられる用途地域であること。

（※都市計画上、述べ床面積10,000㎡以下の場合に限り建築可能な地域）

（注）青森市総合都市関連資料（平成24年2月）「骨格線・幹線例」を参照。
骨格線・幹線……交通需要量の多い路線又は比較的多い路線。
（今後、変更の可能性あり）

◇今後、検討対象地域（数カ所に）を絞り込んだうえで、自転車競技法の設置許可条件等と照らし更に候補となる適地を絞り込みたい。

